

知っていますか？

デートDV

「デートDV」ってなに？

令和3年3月の内閣府による調査「男女間における暴力に関する調査」によると、交際相手がいた（いる）女性の16.7%、男性の8.1%がデートDVを受けた経験がありました。また、同性カップルの間でもデートDVはあり、誰もが被害者にも加害者にもなる可能性があります。

「暴力」と聞くと、自分には関係ないと思うかもしれません。でも、暴力とは殴る・蹴るなど身体に対するものだけではありません。

交際相手に「他の異性（同性）と会話をするな」と命じたり、スマートフォン（携帯電話）の着信履歴やSNSのチェック、交友関係や行動の監視など、相手の気持ちを考えずに自分の思いどおりにしようとする態度や行動はすべて「デートDV」です。

デートDVがない関係って？

自分のことを大切にする

暴力をふるわれていい人など一人もいません。あなたは大切にされるべき存在です。自分自身を大切にする気持ちを持ちましょう。自分の気持ちを大切にし、嫌なことには「NO」と言いましょう。

相手のことも大切にする

相手はあなたと違う人間です。相手が自分と違う意見や考えを持っている、あなた以外に大事な関係を持っていたとしても、互いに違があることを認め、受け入れましょう。相手への思いやり、相手を大切にする気持ちを常に持ち続けることが大切です。

問題解決の方法に暴力を選ばない

どんな理由であっても、暴力は決して許されません。暴力によらない解決方法があるはずです。自分の気持ちや考えを伝える際、相手を思いやるコミュニケーションについて考えてみましょう。

～性的同意について考えてみましょう～

好き同士ならセックスするのは当たり前でしょうか。
相手が自分と同じ気持ちだと思い込み、
同意を得ずに性的な行為をすることは「性暴力」です。

悩んだら相談しましょう

匿名で、性別問わず、どなたでも無料で相談ができます。
身の危険を感じた場合や、緊急の場合は警察へ（110番）

【埼玉県女性・DVチャット相談「たまチャ」】

受付時間 日・水・金 / 15:00～21:00
(12/29～1/3除く)

https://www.pref.saitama.lg.jp/a0309/dv-soudan_webchat.html

3月から4月は、卒業や入学、入社や退職、転勤、引越など、自身をとりまく環境が移り変わっていく人も多い時期です。

そんな中、人間関係に悩んでいる人もいるのではないでしょうか？

「デートDV」は恋人同士で起こる暴力のこと。この機会に恋人との関係を振り返り、デートDVの被害者にも加害者にも、傍観者にもならないように、どうしたらよいか考えてみましょう。

交際相手との間でこんな経験はありませんか？

精神的暴力

- 思い通りにならないと不機嫌になる
- 人格や外見を否定する
- 暴言を吐く
- 怒鳴る
- 見下す
- 何事も「お前のせいだ」と言う
- 無視する
- 殺す・死ぬと脅す
- 長時間説教する

経済的暴力

- デート費用をいつも払わせる
- 貸したお金を返さない
- 別れるならこれまでのデート代を払えと言う
- 自分の経済力を使って言うことを聞かせようとする
- など

身体的暴力

- 殴る・蹴る
- 物を投げつける
- 首を絞める
- 髪を引っ張る
- 壁に押し付ける
- つねる・噛む
- 突き飛ばす
- など

性的暴力

- 嫌がっているのにキスをしたりセックスをしたりする
- 避妊に協力しない
- 性的嗜好を押し付ける
- 裸やセックス中の写真・動画を撮る（撮りたい・送ってほしいと要求する）
- など



「デートDV」ってなぜ起こるの？

暴力を軽く考えていませんか？

「恋人だから、理由があったら暴力をふるっても（ふるわれても）仕方がない」…あなたはどう思いますか？

暴力は決して許される行為ではなく、ふるう方が悪いのです。

「女らしさ」「男らしさ」を期待してませんか？

「女の子はおとなしい方がかわいい」「男なんだからリードしてほしい」…固定的な観念にとらわれ、社会的な役割や態度、行動を決めつけていたら、対等な関係が築けません。

「束縛」が愛だと思っていませんか？

好きだからといって束縛する、嫌われたくないから我慢する…。それが愛情だと思い込んでいませんか？

最近はSNSなどで一緒にいない間でも相手を束縛することができてしまいます。お互いの時間や意思を尊重し合うことが大切です。



**恋人と、SNSの使い方について
しっかり話し合いましょう**

【With You さいたま】

TEL 048-600-3700
受付時間 月～水・金・土 / 9:30～20:30
日・祝・休日 / 9:30～17:00
(木曜日、12/29～1/3除く)